

福島空港は、玉川村と須賀川市にまたがる丘陵地に、福島県が管理する空港として平成5年に開港しました。現在は、札幌・大阪との2路線のほか、台湾とのチャーター便が1年を通して就航しており、空の玄関口として地域に貢献しています。

Topic

ドローン発見時対応訓練を実施しました！



各職員に指示を出すリーダー

合同対策本部会議の様子

7月31日(木)、ドローン発見時対応訓練を実施しました。

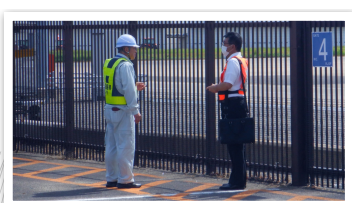
訓練には、警察や消防、空港関係機関など20機関49名が参加し、ドローンの飛行が禁止されている空港の上空を無許可で飛行するドローンが発見されたとの想定で、空港の閉鎖や関係機関への通報、ドローンの追跡、操縦者の捜索、合同対策本部の設置といった初動対応から、警察が操縦者を確保し、閉鎖を解除するまでの一連の流れを確認しました。

今後も各種訓練や点検を通して、福島空港をご利用いただく皆さまの安全・安心の確保に努めてまいります。



ベコ太郎

空港周辺のドローンの飛行は、飛行機と衝突したり、エンジンに吸い込まれる危険性があるため、制限表面と呼ばれる一定の高さよりも上空を飛行させることが禁止されています！



操縦者を発見し声をかける福島空港事務所の職員



警察が到着し対応する様子

Report

朝の滑走路ウォーク

8月17日(日)、福島空港で朝の滑走路ウォークが、須賀川商工会議所の主催により開催されました。朝霧が立ち込める中、参加者は空港スタッフと一緒に、2,500mある滑走路の半分ほどを、写真を撮ったり会話を交わしながら歩きました。

滑走路を歩いた後は、ANAのスタッフからGSE車両(空港ではたらく自動車)についての説明を受け、最後に大阪伊丹空港へ出発する飛行機をお見送りしました。



思い思いに滑走路を歩く参加者



出発する飛行機に手を振る参加者

Q&A

滑走路のギザギザ？

Q

滑走路をよく見ると、表面に無数の溝がありました。この溝はどのような意味があるの？

A

滑走路の表面の溝は「グルーピング」と呼ばれているもので、滑走路の水はけをよくし、航空機の着陸時の制動距離の短縮や、雨天時のハイドロプレーニング現象による事故を防ぐ効果があります。

グルーピングは、幅6mm、深さ6mmの溝を32mm間隔に設けることになっており、福島空港事務所では、この数値を維持するために、定期的にグルーピング工事を行っています。

グルーピングのほかに、滑走路の中心部分を高くして、両端に傾斜をつけることによっても、滑走路の水はけを良くしています！

ベコ太郎

福島空港のグルーピング

Event

福島空港・福島空港公園のイベント情報

イベント名	実施日	実施場所	備考
秋のひこうきマルシェ	9/7(日)	福島空港2階 特設会場	
秋の全国うまいもの市	9/18(木)～9/23(火祝)	福島空港1階/2階 特設会場	
「空の日」フェスティバル	9/20(土)	福島空港全域	
YOSAKOI祭り2025秋	9/20(土)	福島空港公園 エアフロントエリア	

※イベント情報は予定であり、変更となる可能性があります。お出かけの際は、下記公式ホームページのイベント情報をご確認ください。

福島県福島空港事務所

石川郡玉川村大字北須釜字はばき田21番地
0247-57-1111



福島空港
公式ホームページ



福島空港公園
公式ホームページ



福島空港事務所
公式ホームページ